



## 学びの交流を通して、共に育つ ～「川上かがやき学習交流会」を終えて～

学校長 堀部 尚久

東門の脇に植えられた紅白の梅が咲き誇り、待ちこがれた春の訪れを知らせてくれています。明日からは、弥生3月、令和4年度の最後のひと月を迎えます。本年度の教育活動も一年間のまとめの時期となり、今、各学年では、当該学年で履修すべき学習内容を確認しながら学びづくりを進めるとともに、進学や進級に向けた心の準備を重ねているところです。子どもたちには、この一年間を振り返り、できるようになったこと、分かるようになったことをもとに、「確かな自信」がもてるようになったことは何か、進級や進学にあたってさらに磨いておくことは何かなど、自分を見つめ、さらに成長していくために必要な準備や蓄えをする大切なひと月にしてほしいということを話しました。年度末のこの時期は、誰もが成長を実感し、自分への自信をもつとともに、次のステップに繋がるめあてや目標を見出す準備をしておくことが大切だと考えるからです。さて、2月11日（土）に実施した「川上かがやき学習交流会」には、たくさんの方の保護者・地域の皆様方のご参加ありがとうございました。各会場での温かい拍手は大きな支えや励みとなりました。また、「子どもたちが輝く姿」を随所に見取れる「学習交流会」を創り上げることができて良かったです。実施後にいただいたご感想も、先生一人ひとりの子どもたちへの励みや応援の姿が伝わって、子どもたちもこの日のために一生懸命準備や練習をして臨んだことがよく伝わり、個々が存分に活躍できる場だった」「テーマについて、しっかりと調べられ、子どもたちの取組の深さを感じた」「一生懸命に準備や練習をして、お客様をもてなす気持ちで、キラキラしている表情を見ることができて楽しかった」「受け身の授業ではなく、自分から進んで発表し、進めていくことの難しさを学べるよい機会だった」など、子どもたち一人ひとりが輝く姿を捉え、見応えや聴き応えがあったという感想をたくさんいただきました。また、「友達同士、励まし合いながら発表していたのが素敵」「緊張した友達を助けてあげてくれる姿に成長を感じた」「他の人の発表を見て回り、真剣に聞いたり、楽しんで聞いたりする姿もよかった」「他学年や他クラスを訪れる子どもたちが、一生懸命聴き入り、よかった点や面白かった点を丁寧に伝える姿も素敵。それらを聴く、発表側の子どもたちの嬉しそうな顔が印象的で、縦や横の繋がりが、より子どもたちが育んでいるのだと思えた」「学年を超えて見学できるのは、今後の参考になったり、学習の幅が広がったりするよいきっかけ」など、見学や体験を通して、他学年の友達との学びを、介した交流の機会が、互いを刺激し合い、みんなで一生懸命に高め合おうとする姿となっていたという視点で価値付けてくださった感想も数多く寄せられました。さらに、「発表会に向けて、どうやったらうまく発表できるか、事前準備の段階からよく家で話してくれた。友人と活発な意見交換をしながら完成させることに達成感を感じたと思う」など、お子さんが、事前の取組から活動意欲をもって臨む姿にふれられた感想もいただきました。目標やねらいをもち、全校が一丸となって一生懸命に取り組んだこうした姿に、お子様の成長を重ね、本校の子どもたちのよさを感じ取っていただいた皆様の声は、私たち教職員の達成感に繋がりました。「自分たちの学びのあしあとが伝わる学習交流会にしたい」という、純粋で一途な川上小の子どもたちの思いが、めあてに迫ろうとする準備や練習となり、当日の交流を通して実現できたことが、今後の「確かな自信」に繋がっていくことを楽しみにしています。また、当日、校内の各所で展示・掲示された子どもたちの作品も、多くの皆様に鑑賞いただきました。子どもたち一人ひとりが、制作の過程を通して、作品へのこだわりや思いを膨らませ、自分が感じたことや考えたことを表現する喜びや、創作する楽しさが伝わってくる作品をご覧いただく機会となっていたら幸いです。今回の学習交流会は、子どもたちにとっての授業参観の機会でもあり、友達や異学年の仲間との学びや活動の様子、展示や掲示された作品のよさや美しさ、努力や工夫のあとにふれることの大切さにも気付く機会でもありました。こうした全校規模での学習交流の機会・作品鑑賞の機会が、これからの子どもたちの学びに向き合う意欲の喚起や持続に繋がり、自己実現が図られることを願って止みません。一年間のまとめの時期に、こうした教育活動を実施する意義や意図には、本校の教職員の、子どもたちの一年間の成長を願う期待が込められています。子どもたちが苦労や努力を重ねながらも、多くの期待にしっかりと応えようとする姿が、今後の川上小のよき校風として、さらには伝統として引き継がれていくことを楽しみにしています。いよいよ、3月17日（金）には、第131期卒業生として、6年生63名が巣立ちの日を迎えます。6年生にとっては、川上小での6年間の学校生活で、仲間と共に学び身に付けてきたこと、できるようになったこと、そして多くの人たちに支えられてきたことなど、そのすべてがこれからの成長を支えていく「蓄え」となり「原動力」となっていくはずで、3月は、これまでの教育活動を踏まえて、一人ひとりの子どもの育ちをしっかりと見取り、自信をもって進級できるよう支援していきます。ご家庭におかれましても、お子様のこの一年間の育ちを振り返っていただき、学習面や生活面、あるいは身体面や精神面、友達関係の在り方など、成長として感じられたことを蓄えや原動力としてお子様にしっかりと伝えてほしいと考えます。そして、子どもたちが自分の成長を、友達との比較という視点ではなく、自分自身の成長として捉えていくことができるよう、引き続きご支援をお願いいたします。